

令和2年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1. 昨年度の「改善プラン」の検証

(1) 【成果】

- ・3学年では、校内の正答率が目標値を6・1ポイント上回り、前年度同学年の校内平均正答率に比べて改善の様子がみられる。
- ・2学年では、校内の正答率が目標値を8・3ポイント上回り、前年度同学年の校内平均正答率に比べて改善の様子がみられる。
- ・1学年では、校内の正答率が目標値を2・1ポイント上回り、前年度の校内平均正答率に比べて改善の様子がみられる。

(2) 【課題】

- ・3学年においては「書くこと」について課題がみられる。
- ・1、2学年においては「話す・聞く能力」について課題がみられる。

2. 授業改善のポイント

※改善内容に観点【関】【言】【話】【書】【読】を記入。

1 学年

- ・目的意識を持ち、他の発言、発表を聞き取り、言語に対する感覚を発達させる場をつくる。【関】
- ・難しい言葉を意識させ、質問、辞書を引く週刊をつけ、言語能力を高めていく。【言】
- ・单元ごとに小テストを実施し、学習内容の理解状況を把握、確認し、設問に対する回答力を身につけさせる。【書】【読】
- ・考えや感想等を円滑に分かりやすく他社に伝えることを目的として、口頭、または紙上で発表させる。【話】【読】
- ・親しみのもてる身近な教材を取り上げ、考えを表現し、他社の考えを学ばせ、意見交換の場をつくる。【話】

2 学年

- ・意味のとれない言葉を意識させ、質問や辞書を引くことで、学習習慣の定着を図りながら、言語能力を高めていく。【言】
- ・ワーク等の定期的な点検や小テストなどを実施し、家庭学習の習慣化を図る。【言】、
- ・共同学習の場で、他の者の発言を聞き取り、言語に対する感覚を発達させる場を作る。【関】
- ・中学生として親しみのもてる身近な話題を取り上げ、自分の考え、および他者の考え方を学ばせ、意見の交換をさせる。【話】
- ・单元ごとにテストを行い、学習内容の定着を確認する。また、設問に対する解答力を身につける。【書】【読】
 - ・自分の考えや作品を他社に伝えることを目的として、口頭または紙上で発表させる。【話】【読】

3 学年

- ・共同学習の場で他の者の発言を聞き取り、言語に対する感覚を豊かにする。【関】
- ・意味の取れない言葉を意識させ、質問や辞書を引くことで、学習習慣の定着を図りながら、言語能力を高めていく。【言】
- ・ワーク等を定期的に点検や小テストなどを実施し、家庭学習の習慣化を図る。【言】【読】
- ・中学生として親しみのもてる身近な話題を取りあげ、自分の考え、および他者の考え方を学ばせ、意見の交換をさせる。【話】
- ・自分の考えた内容を他者に伝えることを目的として、口頭または紙上で発表させる。【話】【読】
- ・单元ごとにテストを行い、学習内容の定着を確認する。【読】
- ・作文ノートを活用し、自ら意見を文章としてまとめる機会を設定する。【書】